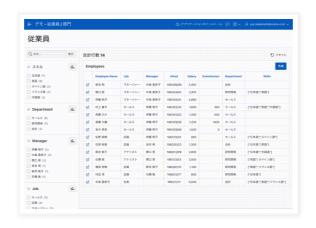
日日是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2021年10月27日水曜日

Oracle APEX 21.2新機能(2) - マルチバリュー・ファセット

Oracle APEX 21.2のファセット検索に、マルチバリュー・ファセットのサポートが追加されました。



マルチバリュー・ファセットについては、Oracle APEXの開発チームが短い解説動画をYouTubeで公開しています。

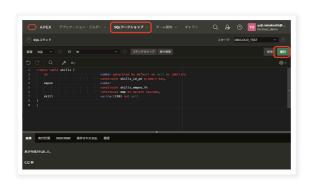
マルチバリュー・ファセットを実装することにより、使い方の確認を行います。サンプル・データセットのEMP/DEPTから自動的に作成したアプリケーションを元にします。このアプリケーションは、表EMPに対するファセット検索のページを含んでいます。



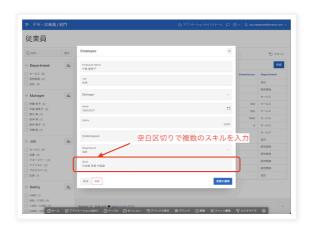
従業員が持っているスキルの情報をデータセットに追加します。以下の定義で表**SKILLS**を作成します。表**EMPへの**参照制約を定義している都合上、列**EMPNO**には索引**SKILLS_I1**を作成しています。

```
constraint skills_empno_fk
references emp on delete cascade,
skill varchar2(80) not null
)
;
-- table index
create index skills_i1 on skills (empno);
```

SQLスクリプトとして実行するか、**SQLコマンド**からCREATE TABLEとCREATE INDEXをそれぞれ1回ずつ実行してもよいでしょう。



従業員を編集するページにスキルを入力するページ・アイテムを追加します。複数のスキルを空白で区切って入力します。

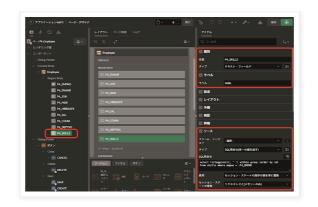


ページ・デザイナにてフォームのページを開きます。フォーム・リージョンである**Employee**にページ・アイテムを作成します。

識別の名前はP4_SKILLS、タイプにはテキスト・フィールドを選択します。ラベルはSkillsとします。ソースの設定のフォーム・リージョンは選択しません(- 選択 -のままにする)。フォーム・リージョンのソースは表EMPであり、スキルはソースに含まれていないためです。タイプはSQL問合せ(単一の値を返す)を選択し、スキルを空白で区切って一行で表示するように、SQL問合せとして以下を記述します。

select listagg(skill, '') within group (order by id) from skills where empno = :P4_EMPNO

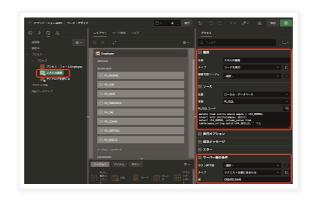
使用として**セッション・ステートの既存の値を常に置換、セッション・ステートの保持**は**リクエストごと(メモリーのみ)**とします。



フォームが送信されたときにページ・アイテムP4_SKILLSを受け取って、表SKILLSに書き込むプロセスを作成します。識別の名前をスキルの編集とします。タイプにはコードの実行を選択します。編集可能リージョンは無指定(- 選択 -のまま)にします。ページ・アイテムはフォーム・リージョンEmployeeに配置されていますが、データとしては関連付けされていません。ソースの位置はローカル・データベース、言語はPL/SQLとし、PL/SQLコードとして以下を記述します。

delete from skills where empno = :P4_EMPNO; insert into skills(empno, skill) select :P4_EMPNO, column_value from table(apex_string.split(:P4_SKILLS, ' '));

作成および変更の適用のボタンが押されたときにのみ実行されるよう、サーバー側の条件のタイプにリクエストは値に含まれるを選択し、値としてCREATE SAVEを指定します。削除については、表EMPの親レコードが削除されるときにカスケードで削除されるので、追加の処理は不要です。



以上で従業員が持つスキルの編集ができるようになりました。このスキルを対象に、マルチバリュー・ファセットを作成します。

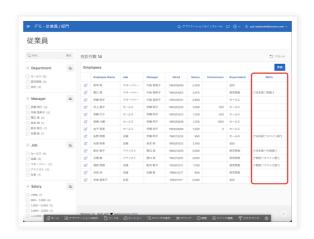
最初にレポートのリージョンであるEmployeesに列SKILLSを追加します。ソースのタイプをSQL問合せに変更し、SQL問合せとして、以下を記述します。従業員一人が持っているスキルをJSON_ARRAYAGG関数でまとめ、JSONの配列として1行にしています。JSON_ARRAYAGGの代わりにLISTAGG関数を使うこともできます。

```
select
e.EMPNO,
e.ENAME,
e.JOB,
e.MGR,
e.HIREDATE,
e.SAL,
e.COMM,
e.DEPTNO,
s.SKILLS
from EMP e left outer join
(
select empno,
```

json_arrayagg(skill order by id returning varchar2(400)) skills from skills group by empno
) s
on e.empno = s.empno



ファセット検索のテストを行うため、スキルの情報をあらかじめ入力しておきます。



マルチバリュー・ファセットを作成します。リージョン**検索**にて**ファセットの作成**を実行します。 **識別の名前はP3_SKILLS**、**タイプ**に**チェック・ボックス・グループ**を選択します。**ラベル**は**スキル** です。**LOV**の**タイプ**は**個別値**とします。ここまでの設定内容は通常のファセットと同様です。



マルチバリュー・ファセットの場合は、**複数の値**の**タイプ**として**区切りリスト**または**JSON配列**を選択します。今回は**JSON_ARRAYAGG**関数によって1行にまとめているため**JSON配列**を選んでいます。**LISTAGG**関数でまとめた場合は**区切りリスト**を選択します。**フィルタの結合**には**AND(論理積)**を選択しています。ファセットにてチェックを入れた項目をすべて含んでいる行が検索結果に含まれます。**OR(和集合)**を選ぶとチェックを入れた項目のどれかが含まれていれば検索結果に含まれます。



ファセットの名前をP4_SKILLSとしているため、ソースのデータベース列はデフォルトでSKILLSとなっています。

以上でマルチバリュー・ファセットの設定は完了です。動作を確認してみます。

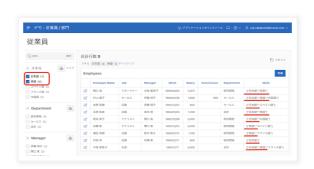
スキルのファセットで、日本語と英語にチェックを入れました。フィルタの結合としてAND(論理 積)を設定しているため、スキルとして日本語と英語の両方が登録されている人がリストされていま す。



フィルタの結合をOR(和集合)に変更して、同様の検索を行ってみます。



スキルに日本語か英語のどちらかが含まれている人が一覧されます。



以上でマルチバリュー・ファセットの紹介は終了です。

作成したアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。 https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/new212-multivalue-facet.sql

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。



共有

★一厶

ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。 こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

詳細プロフィールを表示

Powered by Blogger.